

ミ ニ シ タ ー
あぜみち通信

* * * * *

令和2年12月1日

第240号

編集・発行（一社）愛知県農業会議

◎ **令和2年秋の叙勲で農業団体関係者が受章されました**

令和2年秋の叙勲で、石川哲雄氏（豊田市）が旭日双光章を受章されました。

石川氏は、愛知県茶業連合会会長、愛知県農業会議常任議員・常設審議委員などの要職を務められ、愛知県の茶業振興を始めとする地域農業の発展に貢献されました。その功績に改めて敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

◎ **令和2年愛知県表彰条例による表彰で農業団体関係者が受賞されました**

11月18日に愛知県庁本庁舎講堂において第72回愛知県知事表彰式が開催され、前田隆氏（南知多町）が受賞されました。

前田氏は、あいち知多農業協同組合代表理事組合長、愛知県農業協同組合中央会代表理事会長、愛知県農業会議常設審議委員などの要職を務められ、地域農業の経営安定化に尽力され、愛知県農業の振興と地域の活性化に貢献されました。その功績に改めて敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

◎ **常設審議委員会（農地）の審議状況について**

11月9日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

11月の諮問は、7の農業委員会から農地法第4条に基づく転用事案1件、3,441㎡及び農地法第5条に基づく転用事案9件、47,445㎡についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

（参考） 諮問農業委員会

小牧市（2件うち1件4条関係）、津島市（1件）、弥富市（2件）、半田市（1件）、美浜町（1件）、刈谷市（1件）、豊田市（2件）

◎ **理事会を開催しました**

11月9日に「県三の丸庁舎」において、令和2年度第5回理事会を開催しました。

理事である新城市農業委員会会長の交代があったことにより、新たに会長に就任

した河合勝正氏を理事候補とする議案について審議し、承認されました。これを受けて、12月8日に第2回臨時総会を開催することとされました。

◎ 農業者年金加入推進特別研修会を開催しました

10月30日に「豊川市勤労福祉会館」、11月4日に名古屋市中区の「桜華会館(午前の部・午後の部)」において、独立行政法人農業者年金基金、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業会議の共催により、「農業者年金加入推進特別研修会」を開催し、各地の加入推進部長、農業委員、事務局職員、JA職員等が出席しました。

研修会では、農業者年金基金の西恵正理事長からのビデオメッセージに続き、農業者年金制度の概要について中央会から説明がありました。その後、加入推進活動の取り組みや進め方に関する加入推進実践DVDを放映し、最後に、農業会議から今年度の本県における加入推進の取り組みについて説明を行いました。

◎ 農地中間管理事業研修会が開催されました

11月4日に名古屋市中村区の「ウインクあいち」、11月6日に県西三河総合庁舎において、公益財団法人愛知県農業振興基金主催による「令和2年度農地中間管理事業研修会(第2回)」がそれぞれ開催されました。

農業振興基金の鈴木理事長の挨拶に続き、農業振興基金から「農地中間管理事業の実績経過と改正法を踏まえた進め方」について、県農業振興課から「人・農地プラン実質化の進捗及び所有者不明農地の活用」について、それぞれ説明がありました。

その後、特色ある県内の取り組み事例として、①「犬山市今井地区における農地中間管理事業の活用」、②「幸田町における機構関連事業による農地基盤の高度化と農地集約化」、③「新城市作手地区における新たな地域まるっと中間管理方式」、④「豊橋市における円滑化事業及び利用権設定等促進事業の中間管理事業への統合一本化」について、それぞれ事例発表がありました。

◎ 知立市農業委員会が農業施策に関する意見書を提出しました

11月5日に知立市農業委員会(石原國彦会長)から林郁夫市長に「知立市農業施策に関する意見書」が提出されました。

意見書の主な内容は、①市内の優良農地保全・農業振興、②農地等の利用の最適化の推進、③新規参入、新規就農者に対する支援、④農業に関係した組織との連携強化、⑤特定生産緑地制度に対する対応の5点となっています。

◎ 「農の雇用事業」指導者養成研修会等を開催しました

11月16日に名古屋市中区の「アイリス愛知」において、社会保険労務士の三ツ口美恵子氏を講師として、農の雇用事業の経営者又は研修指導者を対象とする「指導者養成研修会」を開催しました。研修事項として、「農の雇用事業」の仕組みと事業実施上の留意点を始め、助成金交付申請書等の記載方法と留意点、現地確認調査及び労務管理上の留意点を説明しました。

また、11月18日には、同会場において、農の雇用事業の研修生を対象とする「事業

説明・研修会」を開催しました。研修事項として、「農の雇用事業」の仕組みと事業実施上の留意点を始め、助成金交付申請書の記載方法と留意点、現地確認調査について説明した後、参加した研修生による情報交換として、各人から研修している内容、今後の目標や将来の夢などを発表し、意見交換を行いました。

◎ 愛知縣市部農業委員会会長会定例総会が開催されました

11月19日に「犬山市役所」において、令和2年度愛知縣市部農業委員会会長会定例総会が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が県内で拡大している状況から、出席者を限定しての開催となりました。

開催地である犬山市の松山農業委員会会長のあいさつの後、市部農業委員会会長の岩田名古屋市農業委員会会長から主催者としてのあいさつがありました。

総会では、平成31年度事業報告及び収支決算、令和2年度事業及び収支決算についての議案が提出され、いずれも承認されました。

また、市部農業委員会会長会は、昭和38年4月の発足以降、農業委員会相互間の緊密な連携を図ると共に農業委員会の活動を促進することを目的に、農業委員会が行う事業についての情報交換、調査及び研究等の事業を実施してきましたが、今年度をもって解散して終了することとなりました。

◎ 農業経営士等の認定式が開催されました

11月20日に名古屋市中区の「愛知県庁本庁舎正庁」において、「令和2年度愛知県農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士認定式」が開催されました。

農業経営士42名、農村生活アドバイザー28名、青年農業士22名が認定され、それぞれの代表者に大村知事から認定証書が授与されました。

◎ 常設審議委員会（農政）の審議状況について

11月24日に「愛知県三の丸庁舎」において、「農地利用の最適化の推進」について協議するための常設審議委員会を開催しました。

事務局から、農地利用の最適化の推進に関する対応として、農業会議及び農業委員会の取り組み、令和元年度農業委員会の取り組み事例、農地利用の最適化の推進に関する農業委員会の令和元年度から令和2年度の取り組み状況、また、上乗せ報酬条例の整備と農地利用最適化交付金の活用等について説明しました。

各委員からは、「県内は地域の実情が異なっているので、地域の特性を生かし、実情に応じた形の活動が必要である」、「農地利用最適化交付金は両委員の活動を支えるものであるので、積極的に活用していくべきである」、「豊田市の中山間地域では定住促進を進める中で農地の利用に関する新たな取り組みを始めている」、「都市地域における市街化区域の農業委員・推進委員の活動のあり方が課題となっている」、「優良農地の保全を進めていく中で、市の施策として企業誘致の動きがあり、農業委員会としては難しい立場にある」、「中山間地域では、放っておけば農地が荒廃、山林化していくため、小規模ながら農地中間管理事業を使って農地利用の最適化を進め

ており、農地中間管理事業との連携が必要である」など様々な意見が出されました。

これらの意見を踏まえまして、令和3年度の事業計画など今後の対応を検討してまいります。

また、例年、当日の午後から実施しておりました農地の転用事案に関する現地調査については、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況から中止しました。

◎ 農地中間管理事業の推進に向けた研修会が開催されました

11月27日に「名古屋市港文化小劇場」において、東海農政局主催の農地中間管理事業の推進に向けた研修会が開催されました。

研修会では、最初に東海農政局橋本局次長から、人・農地プラン実質化への対応や改正法による農業委員・推進委員の地域での積極的な参加を、また、農政局管内3地区の事例について、参考・活用してほしい旨のあいさつがありました。

事例発表として、①「棚田の郷・栗の郷・緑うるおうやすらぎの郷・なかのほうの農地集積(岐阜県恵那市)」では、地域の農業振興と農業経営に寄与することを目的に中野方地区農業振興協議会を設立し、農地集積、機構関連の圃場整備事業、暗渠排水工事に取り組んできた一方、後継者や農地保全の継続等の課題の洗い出しもしてきたこと、②「安城集落農場構想から農地中間管理事業の推進に向けて(J Aあいち中央)」では、集落全体を1つの農場として捉え、農用地利用改善組合等を中心として「地域の農業振興」を図り、「農を通じた住みよい豊かな地域づくり」を目標としてきたこと、また、農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業への更新、地域集積協力金の活用を行ってきたこと、③「玉城町キウイフルーツ産地化と集積(三重県)」では、講師の体調不良により農政局からの説明となりましたが、地権者52人の農地7.3haを集積し、企業参入によるキウイフルーツ産地化に取り組んでいることなど、それぞれの実施内容について発表がありました。

また、東海農政局からは、コロナ禍における人・農地プランの実質化の進め方、所有者不明農地の活用実績などについて情報提供がありました。

◎ 今後の主な行事予定

- | | | |
|------|-----|------------------------------|
| 12月 | 1日 | 尾張地域協議会（県三の丸庁舎） |
| 12月 | 3日 | 海部地域協議会（愛西市役所） |
| 12月 | 4日 | 農業委員会レディスあいち通常総会・研修会（県三の丸庁舎） |
| 12月 | 7日 | 東三河地域協議会（豊橋市役所） |
| 12月 | 8日 | 常設審議委員会・臨時総会（県三の丸庁舎） |
| 12月 | 14日 | 知多地域協議会（阿久比町中央公民館） |
| 12月 | 16日 | 西三河・豊田加茂地域協議会（知立市中央公民館） |
| 12月 | 22日 | 新城設楽地域協議会（新城市役所） |
| 12月 | 25日 | 令和2年度愛知農業賞表彰式（J Aあいちビル） |
| 令和3年 | | |
| 1月 | 7日 | 常設審議委員会（県三の丸庁舎） |